

	<p>経済学研究科(修士課程)</p>
DP	<p>経済学研究科修士課程において、2年以上在学し、修了に必要な32単位以上を修得したうえで、所定の修士論文の審査に合格し、下記の能力を習得した学生に対して、修士(経済学)の学位を授与します。</p> <p>①経済学に関する専門知識を身につけ、それを経済社会に適用する方法を習得している。</p> <p>②専門領域における独創性を大切にし、課題解決力を習得している。</p> <p>③人々に自らの研究成果をアピールできるプレゼンテーション能力と、相互理解を深めるためのコミュニケーション能力を習得している。</p>
CP	<p>経済学研究科修士課程の教育課程は、専修分野を「理論経済・経済史」「経済政策」「現代産業構造」の3分野に分け、経済学の広範な課題に応え得る自立した人間の育成を目指すために、下記の点を重点に編成しています。</p> <p>①専修した学術分野に関する高度な知識や分析手法について、講義・討論・論文作成を通して研究指導する。</p> <p>②指導教員による論文作成指導を2年間にわたって授け、経済学上の未解明の問題に対する研究・調査方法、経済学的思考方法、論理的展開方法を習得させる。</p> <p>③経済学研究科が主催する研究発表会で研究成果を発表させることで、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養う。</p>
AP	<p>経済学研究科修士課程で学ぶためには、経済学およびその関連分野について学部で培った基礎力および応用能力を持つとともに、企業・研究機関等において、高度な専門職業人および研究者として経済および社会の発展に貢献したいという強い意志と意欲を持つ積極的な学生が望まれます。</p> <p>具体的には、</p> <p>①理論・歴史・政策の各分野における基礎的素養を有し、さらに経済学上の諸問題の解明と、その適用に情熱を持っていること、</p> <p>②経済と社会に対する深い関心と旺盛な探究心を持ち、自分自身で課題を見出し、その解決に挑戦する意欲を持つことが望まれる。</p>

	<p>経済学研究科(博士後期課程)</p>
DP	<p>経済学研究科博士後期課程において3年以上在学し、専修科目について研究指導を受け12単位以上を修得したうえで、所定の博士論文の審査に合格し、下記の条件を満たした学生に対して、博士(経済学)の学位を授与します。</p> <p>①経済学に対する情熱と高度な専門的学識と深い洞察力を有し、研究者としての独創力が認められるもの。</p> <p>②豊かな創造力と実践力を備え、自立した専門家・研究者となる能力を有しているもの。</p>
CP	<p>経済学研究科博士後期課程の教育課程は、ますます複雑になる現代経済社会に経済学者として対応できるような、自立した専門家・研究者の育成を目指す。上記の目的達成のために、下記の点に重点をおいて教育課程を編成しています。</p> <p>①独創的な研究とその研究成果としての学位申請論文の作成指導を通して、研究・調査方法、論理的思考法と思考能力、発展的研究課題の発見とその学問的な設定方法を指導する。</p> <p>②各自の研究成果を国内外の学会で積極的に発表し、学術誌への投稿・掲載を促進するとともに、研究成果発表能力をより高めるように指導する。</p> <p>③理論経済・経済史、経済政策、現代産業構造の各専修分野に講義科目を開設し、専修分野において自由に講義を選択し履修することにより、経済学研究者、高度専門職業人として専修科目に留まらず多角的に経済学の知識を構築する。</p>
AP	<p>経済学研究科博士後期課程で学ぶためには、経済学とその関連分野について修士課程で培った基礎力および応用能力に加えて、企業・研究機関等において、高度な専門職業人あるいは研究者として経済・社会の発展に貢献したいという強い意志、意欲並びに積極性を持つことが望まれます。</p> <p>具体的には、</p> <p>①理論・歴史・政策の各分野における経済学上の理論的な諸問題および現実経済の分析的・実証的な諸問題の解明と解決、経済学の社会への適用に情熱を持っていること、</p> <p>②経済社会に対する深い関心と旺盛な探究心を持ち、自分自身で研究課題を見出し、その研究の実践と課題解決に向けて、挑戦する意欲を持っていることが望まれる。</p>